

南あわじ市
学ぶ楽しむ日本一



令和 8 年度

南あわじ市の教育方針

学ぶ楽しさ日本一

生涯を通じて、学びのいぶきが
みなぎるまちづくり

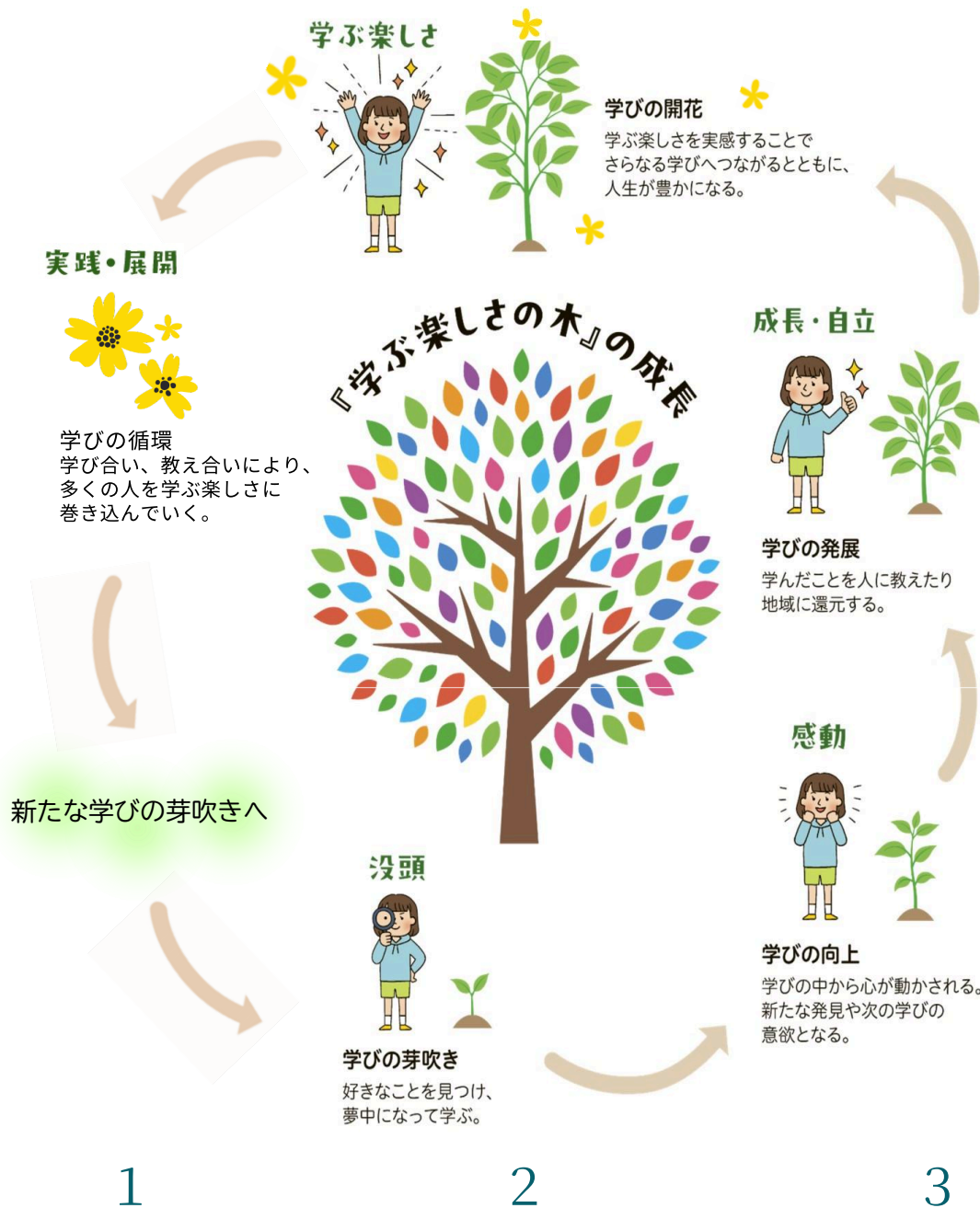
年齢にかかわらず、興味・関心があることに触れる
経験は、毎日の暮らしを彩りのあるものにします。

南あわじ市では、すべての市民が生涯を通じてどん
な時でも楽しく学ぶ機会を持ち、心豊かな日々を送
れるよう多くの学びの場を整えていきます。

そして、市民の学びの「活気＝いぶき」が、地域社
会全体の活性化へつながり、学ぶ楽しさであふれる
まちをめざします。



学ぶ楽しさとは 好きこそものの上手なれ



ある物事に興味を持ち、自分で調べたり、上手な人を見習ったり、周りの人と一緒に切磋琢磨したりといった、何かに「没頭」することから「学ぶ楽しさ」が生まれます。

その中で「発見」があり「感動」が生まれ、それを繰り返しながら、知識を得て、自らが成長していく方法を習得していきます。

そして、これらの経験を応用することで「自立」した学びとなり、もっと多くのことを吸収できるようになると、さらなる「学ぶ楽しさ」へつながっていきます。

施策体系

基本方針 1

予測困難な時代を
生き抜く力を育む
教育の推進

- 1 「確かな学力」の育成
- 2 「豊かな心」の育成
- 3 「健やかな体」の育成
- 4 社会的自立に必要な資質・
能力・態度の育成
- 5 特別支援教育の推進
- 6 幼児期の教育の充実
- 7 人生100年を通じた
学びの推進

基本方針 2

自分らしく安心して
過ごせる学校・家庭・
地域等の構築

- 1 多様性の尊重と包摂性
のある教育の推進
- 2 学校・家庭・地域との
協働による豊かな学び
の推進
- 3 子どもの育ちを社会
全体で支える取組の推進
- 4 安心・安全の確保

基本方針 3

安心・安全で
質の高い学びを実現
する教育環境の
整備・充実

- 1 教育DXの実現に向けた
教育の情報化の推進
- 2 修学環境の整備・充実
- 3 教職員の資質・能力の
向上
- 4 学校の組織力の向上
- 5 生涯学習環境の整備・
充実

市民に実感してほしい 7つの学ぶ楽しさ

- 新たな気づきや学びを得る楽しさ
- 困難なことにもチャレンジする楽しさ
- 考え工夫し、想像する楽しさ
- 仲間と協働してやり遂げる楽しさ
- 思いや考えを表現する楽しさ
- 本物に触れる楽しさ
- ふるさとを知り、ふるさとに関わる楽しさ

一人一人が輝く 魅力ある学校づくり

子ども一人一人の個性や背景を尊重し、居場所とつながりを感じられる環境を整えることで、すべての子どもが安心して学び、成長できる学校づくりを進めます。

そのために、認め合う、支え合う、助け合う、意見を言い合える学級経営のあり方を研究していきます。

1

小中学校の連携と 一貫教育

社会情勢の変化に伴う少子化が進む中、学校規模の縮小や異年齢間交流の減少が深刻化する状況を踏まえ、今後の学校のあり方を検討していきます。

これまでの小中連携をさらに推進するとともに、施設併設型、施設分離型の小中一貫校について検討・準備を進めます。

2

中学校部活動の 地域展開 MINA・KATSU

令和10年9月の部活動完全地域展開に向けて、子どもたちがやりたいことを選択できる地域クラブ活動の体制づくりを地域と連携して取り組みます。

また、子どもたちのやりたい思いを途切れさせることのないよう、地域展開までの期間、学校部活動を継続していきます。

※MINA・KATSU（ミナ・カツ）：
南あわじ市地域クラブ活動の略称

3

地域の絆を深め 未来を育む遊び場

令和3年度に閉校した倭文中学校の跡地利用として、

- ◆雨天・酷暑でも利用が可能
- ◆保護者も満足
- ◆地域や多世代間との交流
- ◆地域振興に寄与

の4要素を盛り込んだ子どもの屋内遊び場について、整備検討を進めます。

4

「学ぶ楽しさ日本一」 主な取組

知恵あふれ、ふるさとを大切に する人づくり「ふるさと創造学習」

南あわじ市が世界に誇る伝統芸能である淡路人形浄瑠璃を題材とした、小学校から中学校までの9年間を通じて、各学年で重点的に育成したい資質・能力達成レベルを設定しながら授業を進めていきます。

「読み解く力」、理解のその先へ

学校において、各教科学習の中に「読み解く力の育成」を意識した活動場を導入するとともに、学校司書と図書担当及び市立図書館の連携による読書活動を推進します。

「改革」でめざす学び続ける子の育成

生涯にわたって「能動的に学び続ける子」の育成を図るため、主体性、コミュニケーション能力を高めて子ども全員が活躍できる授業を実施します。市内各校の授業改革の取り組みを他の学校と共有、実践するとともに、1人1台タブレット端末を効果的に活用していきます。

学びを変え、学校を変える 「スクールイノベーション」

学校が抱える様々な課題に対し、各校が独自の切り口で主体的に課題解決を図り、「学ぶ楽しさ」を追求する授業や行事、取組等を展開することで特色ある学校づくりを推進します。

学ぶ防災から「行動する防災」

子どもたちが主体的に南あわじ市の防災に関わり、協働して安心・安全なまちづくりに貢献しようとする意識を高めるため、防災ジュニアリーダー認定講座の実施や中学校同士の防災パートナー協定による活動、舞子高校による出前授業など、「防災ジュニアリーダー養成事業」を推進します。

なりたい自分を見つける 「アフタースクール」

小学生を対象に、「まちの先生」といった地域の協力を得ながら、遊びを通じた多種多様な体験プログラムを実施することで、子どもたちの自主性、積極性、コミュニケーション能力を育むとともに、地域住民が子どもたちに関わることで、自ら成長し、活躍できる場を創出します。

未来が広がる、未来につながる 「夢プロジェクト」

小中学生を対象に、スポーツや文化の魅力や楽しさ、努力することの大切さを感じてもらうとともに、友達を大切にすることを育み、大きな夢を持ち豊かな生活を送ってもらうことを目的として、スポーツ選手や文化人等を講師として招いた特別授業を行います。

理解を深め、意識を深める 「人権の文化」

教育や啓発を通じて、一人一人が自由・平等で、差別や人権侵害があってはならないという人権を尊重する意識が社会の中に定着するとともに、市民の普段の態度や行動に現れる人権文化の実現をめざします。

市民が集い、学び合う拠点 「みんなの公民館」

地域の生涯学習の拠点として、市民の健康・スポーツ・文化・芸術など、様々な学びを支える場となるとともに、地域住民の学び合いや、主体的な学びの支援に取り組んでいきます。また、身近な公共の拠点として活動を広げていきます。

市民に開かれた「図書館づくり」

多世代が集う生涯学習の場となるよう、開かれた図書館づくりを市民とともに進めていきます。読みたい、調べたい、学びたいという市民を応援する環境や仕組みづくりを進めるとともに、学校とも連携して読書活動を推進します。

日常に息づく芸術・文化 「魅力あふれる美術館・資料館」

南あわじ市滝川記念美術館玉青館、淡路人形浄瑠璃資料館において、常設展示、特別展示、イベントやワークショップを工夫し、魅力的で市民に愛される施設をめざします。また、淡路人形浄瑠璃館（淡路人形座）では、公演等を通じて、日本の伝統芸能のすばらしさを伝えます。

学びで彩る人生100年時代「生涯学習」

市民一人一人が生涯にわたって、必要な時に必要な学びを通じ、それぞれの幸せや生きがいを感じられるよう、質の高い学習機会の提供に取り組みます。また、地域資源を最大限に活かした文化・スポーツ活動の活性化を図ります。



南あわじ市立図書館

南あわじ市教育委員会
南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会